

菊池短歌会

7月詠草

根を山に奔放してなる葛蔓吾が家覆ふがのあらあらしきよ 岩木 妙子
謹みて余生送らむわが決意くづるるなかれ山脈青し 氏岡 百枝
久々に会ひたる亡夫に目覚めしも後姿なりし振り梅野かをり 梅野かをり
ひとり居のそこはかとなき夕まぐれ十葉の花濡れて真白し 黒田 衣子
端然と並み植ゑらるる早苗田は日本民族の芸術作品と云はむ 古賀 勝士
阿らづ貫きて生くる生ありと葦群れ青き橋をわたりにぬ 怒留湯健蓉
可も不可もまた有難みいさぎよく六月尽のカレンダー剥ぐ 村上 咲江
娘に送る畑の枝豆、茄子、トマト近況一枚走り書して 山下 菊代
深海色にグラジオラスの咲き出でぬ梅雨の間に「今」と切りゆく 山代 静子
手を休め梅雨のあいまの散歩道青田を渡る風こちよし 余語やす子



万句の里俳句会

7月句会

梅干せば祖母の面影近づきし 茨木 幸子
一雨の去りし大樹の蟬時雨 松永 久子
出水して小魚逃れくる支流 中路 郁子
薄雲を抜けてまんまる月涼し 高木 陽子
芋の葉に早最も来てをりし 鋤本 トミ
秘やかに古代を開く蓮の花 田中ひさ子
木洩日の風の捉へし秋の蟬 東 鈴子
寝返りの夢も現も熱帯夜 稲田 玲子
蝉しぐれ短かい命降りしきる 大山 厚子
ほととぎす山湖の波の光り出す 梅田 昭子
夾竹桃咲いて公園昼下がり 光本とよいち
濯ぎ干すまなかひに湧く夏の雲 小川 照子

肥後狂句桜会

例会入選句集より

見苦しか 何期会長するかいだ 田中 孝幸
色とりどり ギャルの水着で目の保養 藤野 清子
さわやかさ 新緑句う雨上がり 小川 繁美
色とりどり 衣装も競いよるアテネ 光堀 善教
あの頃は 天皇は神様だった 高倉 新米
月あかり 遠廻りして帰ろうか 須藤 新生
あの頃は 一山売りやア良か普請 窪田 明德

泗水短歌会

7月詠草

あの頃は 憲兵が幅効かしたつ 田尻 浩風
青息吐息 年金だけの医者通い 狩野 本六
あの頃は 金の卵と呼ばれ 高木 房恵
家族会議 たらひ回しの老いた親 上村 ○子
今が旬 鳥の声聞きウオーキング 田中レイ子
二十年寝たきりの母が左手で書きし肥後狂句目頭うるむ 西 カオル
風吹けば風にさゆらぎ百日紅の紅靨かせて亡夫の忌近し 平嶋きくえ
裏畑に枇杷の実色づき小鳥等は遊び場となしつつきいるらし 宮本 峯子
妹とオセロひととき楽しむに次第に肩に力かかり増田久美子
五月雨の続きし日々を疎みしも晴るる夏日にまた愚痴こぼす 大島 きた
朝風に胸の産毛を膨らませ鴨の群れ行く早苗揺らして 吉安 永子
阿蘇の峰東に望む吾が郷土沃土に棲みて歳を重ねる 福原美智子
テレビドラマ「鱈雲」見てなつかしく五十年前の田押車は 内田つね代
今年夏武道館にて試合とう孫の結果待つケイタイを買う 高藤タツノ

せせらぎ俳句会

7月例会

きしきしと洗へば茄子の紺の色 服部 静子
盆来たる死にそこなひし身に迎ふ 坂本まつえ
蟻の列見つめ動かぬ幼な孫 寺本 和子
夏夕焼うつろひに佇ち盡しけり 村山 数恵
日焼けして少年の丈母を越え 五丁 義昭
冷奴裸で晩酌それで可し 内村 泊虹
老鴛の妻の耳には届かざる 藤本 邦浩
梅雨明けて今日はたちまち猛暑かな (中三) 渡辺 一史
蚊に悩み暑さに悩み寝不足に (中三) 渡辺 大寿

七城短歌会

7月詠草

早苗田の夕光見つつ酌み交わす夢は星へと七夕の夜 村上 幾雄
バッチョ笠冠りしままで昼餼なせる七十年前の田植えの畦見し 岩崎 照代
コスモスに日課の水掛く梅雨明けの厳しく差す日の翳りを待ちて 水田紗陽子
信号を待つ間を見和ぐ早苗田にそよぐ緑葉が水面に映えるて 緒方 寛子
夕すが梅雨の雨間に咲き初めりうすき花びらにしく残して 高木 精
新緑の庭にすずらん黄小花咲き連なりて朝にやすらう 岩津 涼子
大雨に冠水したる早苗田を目凝らし覗けば葉先の楢立つ 下川 つぎ
いづくより花供えあり奥津城の夫に問い掛け水替ゆるなり 吉間 充子
テレビにて浸水被害の地区写すさほど離れぬ町に息が住む 森 道子
畑に撒りゆく石灰何の遺恨なるか汗なす顔を容赦なく刺す 佐々 重弘

旭志文芸俳句会

7月詠草

お城門樹齢不詳の楠若葉 芹川 蓉子
庭に舞ふ螢は夫の魂のごと 芹川のり子
小綬鶏や朝のしじまを破りけり 出田みどり
ほととぎす初鳴き聞くや厨事 水谷 ミネ
村二軒日の丸掲ぐ子供の日 東 芳子
玉葱の吊られ行く竿たわみけり 中尾ヨシコ
俄か雨檉の葉つばに露光る 郷 ミヤ子

肥後狂句水笑会

7月例会

器量よし 降る縁談に困つとる 続 義昭
思いやり 吸うな呑むなて注意さす 井手 水光
思いやり 思いやられる年になり 平井 江彩
嬉しくて 言葉にならぬインタビュ― 神尾 迫水
回覧板 むごう好かこつ書いてある 吉岡 三水
回覧板 見らずに回し恥かいた 御手洗三代
我慢がまん エコーライフて知らんとか清原 英坊
我慢がまん リモコン置いて取る団扇 中島 五女
我慢がまん やせるやせんの別れ道 宮上 美由

